

地区対抗駅伝競走大会 荒砥チームが10年ぶりの優勝

町誕生62周年記念地区対抗駅伝競走大会は10月9日、町内15区間を結ぶ総距離42・8キロで行われ、6地区計105人のランナーがたすきをつなぎました。雨の上だった午前9時30分、レースは2連覇中の鷹山チームがトップでスタート。その後、一度は十王チームが首位に立つも、3区で荒砥チームの茨木天真選手が区間新記録と快走。荒砥チームはその後も中・高・一般とバランスのとれた

チーム力を見せ、アンカアの渡邊選手が両手を高くと挙げてゴール。10年ぶりの栄光を手に入れました。

大会結果

1位	荒砥	2時間 31分 04秒
2位	鷹山	2時間 33分 40秒
3位	十王	2時間 36分 08秒
4位	蚕桑A	2時間 38分 11秒
5位	東根	2時間 46分 19秒
6位	鮎貝	2時間 50分 06秒
7位	蚕桑B	3時間 02分 05秒

人差し指で「1位」を表し、仲間の待つゴールへ勢いよく飛び込む荒砥チームアンカアの渡邊選手



平成28年度成績優秀者激励金交付

文化・スポーツ活動において優秀な成績を収めた全国大会への出場を果たされた方々に、町から激励金を交付しています。10月交付分として交際させていただいた成績優秀者は次の方です。

氏名	竹田 静香
学校名	白鷹高等専修学校
大会名	第54回技能五輪全国大会（洋裁部門）



今大会で3大会連続の全国大会出場を成し遂げた竹田さん

小さな町に広がる大きな輪 国際交流会を開催

さわやかな秋晴れとなった10月23日、第1回目となる国際交流会がふるさと森林公園内もりもりハウスで開催されました。

これは、町内在住外国人と町民相互の交流の輪を広げることを目的に、国際交流会実行委員会（竹田寛治実行委員長）が主催したものです。この日は、町内在住の外国出身者や山形大学の留学生など約30人と町民の方を含め総勢60人で実施されました。中国、ベトナム、フィリピン、コンゴ、ロシア、ラトビアの出身者が一堂に会し、山形県の秋の風物詩である芋煮を囲み、自己紹介などをしながら会話を楽しみました。有意義な交流の時間はあつという間に過ぎ、フィリピン出身の高橋マジ子さん（畔藤）からは「とても楽しい交流ができた。次回はクリスマスパーティーもしたい」と、早くも次の開催を希望する声が聞かれました。



青空の下、日本を含めた7か国の人々がつながり、大きな交流の輪が広がった